

令和7年度いわて特別支援教育推進プラン等施策の取組状況について

令和6年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

○継続施策 ★重点施策

つなぐ ～就学前から卒業後までの一貫した支援の充実～

○「教育支援のためのガイドライン」の改訂と早期からの教育相談・支援

□「教育支援のためのガイドライン」の改訂【済】

令和7年5月に国の動向を踏まえながら改訂した。具体的には、障がいのある子どもの就学に係る基本的な考え方を示し、「教育的ニーズ」について「障害の状態等」、「特別に必要な指導内容」、「教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容」の三つの観点に基づき整理することを示した。従前からの教育相談・就学先決定のモデルプロセスを、実際の就学に係る一連のプロセスに沿って、再整理し、それぞれ取組の基本的な考え方や留意点等を示した。

□「市町村教育支援担当者研修会」の実施【済】

令和7年5月16日（金）総合教育センターを会場に実施した。県内各市町村教育委員会の教育支援担当者に対し、教育支援の進め方及び、医療的ケア児受け入れ体制整備に関する説明等を行っている。

□教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学に関する保護者への事前の情報提供・教育支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等の作成・活用が進められてきている。市町村の実情を踏まえながら福祉に関する情報を盛り込んだり、ホームページで広く周知したりと、年々充実した取組となってきている。

○就労支援ネットワーク会議等を活用した、高等学校等への情報提供

□就労支援ネットワーク会議を活用した高等学校への情報提供【取組中】

特別支援学校と地域の相談支援事業所等の参加者が参加し、就労支援に関する情報交換をする場に、高等学校の特別支援教育コーディネーターや進路指導担当者も参加し、就労支援に関する情報交換をしている。

★引継ぎシート等による継続した支援

□引継ぎシートの取組【取組中】

学校間や学校と医療・福祉等の機関をつなぐ「引継ぎシート」及び「引継ぎシート作成・活用ガイドブック」を、令和2年4月6日に関係機関等に送付し、活用について周知を図った。併せて、引継ぎシートの作成や活用について、指導主事会議や各種研修会で繰り返し周知を図っている。「引継ぎシート」を活用した小学校から中学校への引継ぎ、中学校から高等学校への引継ぎは、令和3年度中学校・高等学校入学生から行っており、学校から医療・福祉機関等への引継ぎは、必要が生じた際に

速やかに活用するものとしており、今後も周知を図っていく。

★各特別支援学校における地域企業との連携

□企業との連携協議会の実施【取組中】

特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進と実習・雇用機会の拡充を図るため、県内9地区で地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、年3回程度開催し、授業参観等や障がいのある方を雇用している企業からの事例報告、意見交換、企業と生徒の相談会等を行っている。

事務局担当特別支援学校11校と協議会員参加企業が9地区で、131社・事業所等（令和8年1月現在）となった。

地区名	担当学校名	参加企業・事業所数
盛岡	盛岡峰南高等支援、盛岡みたけ支援、盛岡ひがし支援	21
花巻・北上・遠野	花巻清風支援	14
奥州	前沢明峰支援	16
一関	一関清明支援	14
大船渡・陸前高田	気仙光陵支援	20
釜石	釜石祥雲支援	12
宮古	宮古恵風支援	9
久慈	久慈拓陽支援	9
二戸	盛岡みたけ支援二戸分教室	16

□いわて特別支援学校サポーター制度登録企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援（2～3日間実施する就業体験、1週間から1カ月間程度実施する産業現場等実習）を行っている企業（令和8年1月現在149企業等）を県民に広く周知し、5年間継続して支援をいただいている企業に対し感謝状を贈呈している。（令和7年度は、盛岡1社、花巻2社に贈呈）

今年度から10年間継続して支援をいただいている企業にも感謝状を贈呈した。（令和7年度は盛岡21社、花巻1社、大船渡4社に贈呈）

★地域の特色を生かした特別支援学校技能認定会の実施・啓発と教育活動の充実

□地域の特色を生かした特別支援学校技能認定会の実施を踏まえた、教育活動の改善【取組中】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、企業等の協力を得ながら、平成29年度から県立特別支援学校高等部生徒を対象として実施している。令和3年度からは、県内4会場での開催とし、より地域に根差した事業となるように進めている。

〔二戸・盛岡会場〕令和7年11月12日（水） 盛岡タカヤアリーナ

- ・技能認定種目 物品管理、清掃
- ・参加者 二戸・盛岡地区特別支援学校高等部生徒73名
- ・協力企業等 21企業等 ※審査員として協力

〔中部・県南会場〕令和7年11月14日（金） 県南青少年の家

- ・技能認定種目 事務補助、清掃
- ・参加者 花巻清風・前沢明峰・一関清明支援学校高等部生徒18名
- ・協力企業等 10企業等 ※審査員として協力

- 〔沿岸北部会場〕 令和7年 7月11日(金) うみマチひろば(宮古)
- ・技能認定種目 物品運搬、商品管理
 - ・参加者 宮古恵風・久慈拓陽支援学校高等部生徒27名
 - ・協力企業等 14企業等 ※審査員として協力
- 〔沿岸南部会場〕 令和7年 11月19日(水) 気仙光陵支援学校
- ・技能認定種目 清掃
 - ・参加者 気仙光陵・釜石祥雲支援学校高等部生徒8名
 - ・協力企業等 6企業等 ※審査員として協力

つなぐ ～就学前から卒業後までの一貫した支援の充実～

【成果】

- ・市町村教育支援担当者研修会では、今年度改訂された「教育支援のためのガイドライン」や「就学事務手続きの手引き」を用いて、年度の早い時期に教育支援に係る考え方や手続きについて共通理解を図ったり、各担当者同士で情報交換をしたりすることができた。
- ・市町村で作成している支援ファイルに引継ぎシートの様式を組入れるなど、市町村全体で活用する事例が見られており、関係機関の理解と協力のもと引継ぎシートの活用が徐々に進んできている。
- ・企業との連携協議会やいわて特別支援学校就労サポーター登録制度について企業への周知を進めたことで参加・登録する企業が増えている。企業との連携協議会登録企業は今年度6企業の登録があった。また、いわて特別支援学校就労サポーターに関しては、今年度は9企業の登録があった。技能認定会は、地域の実情に応じ、地元企業と事前打ち合わせやデモンストレーションを一緒に行い、企業と連携した取り組みになっている。今年度から10年間継続して支援をいただいている企業にも感謝状を贈呈することができた。

【課題】

- ・各市町村において教育支援リーフレット等を活用しながら、それぞれの学びの場における学習の様子を含めた就学に係る情報について保護者への一層の周知を図り、早期からの継続した教育支援に取り組むこと。
- ・引継ぎシートの作成・活用について、引き続き保護者や各学校への周知や理解を図り、児童生徒の特性や取組まれてきた指導内容・支援方法等を確実に進学先や関係機関に伝えることができるようにすること。
- ・特別な支援を要する生徒への理解を促進し、雇用機会の拡大につながるよう、引き続き、特別支援学校と企業との連携協議会や特別支援学校技能認定会の実施内容等について改善を図るとともに、広く県内の企業様への周知を進めること。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）79校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施する。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施する。

★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

□特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施する。

〔盛岡北地区〕令和7年8月4日（月）盛岡みたけ支援学校 参加者 28名

講演「集団に参加することに難しさのある子の背景を考える」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 滝吉 美知香 氏

〔盛岡中央地区〕令和7年5月29日（木）雫石中央公民館 参加者 35名

講話「「自己」を育む視点からの特別支援教育：実践知と研究知がつながる支援の循環関係」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 滝吉 美知香 氏

〔盛岡南地区〕令和7年8月6日（水）盛岡峰南高等支援学校 参加者 24名

講義「不適応（傾向）の児童生徒の理解と指導・支援」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 鈴木 恵太 氏

〔中部・県南地区〕令和7年8月7日（木）花巻清風支援学校

（サテライト会場：前沢明峰支援学校、一関清明支援学校）

花巻清風支援学校 参加者 27名

前沢明峰支援学校 参加者 20名

一関清明支援学校 参加者 12名

} 合計 59名

講義「進路、就学支援について」

岩手県立花巻清風支援学校 教諭 佐々木 祐子 氏

岩手県立花巻清風支援学校 教諭 福山 沙織 氏

岩手県立前沢高等学校 指導教諭 庄司 綾 氏

〔沿岸3地区〕令和7年6月9日（月）大槌町文化交流センター おしゃっち 参加者 29名

講義「みんなの援助が一人の援助～一次支援の在り方について～」

岩手県立総合教育センター 主任研修指導主事 金野 節子 氏

〔県北地区〕令和7年5月1日（木）久慈地区合同庁舎 参加者 59名

講義「特別支援教育の動向

～個別の教育支援計画と個別の指導計画の重要性について～」

岩手県教育委員会学校教育室 指導主事から説明

グループ協議「特別支援教育コーディネーターの役割について」

□特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用【取組中】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員が、各教育事務所長から特別支援教育中核コーディネーターの委嘱を受け、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わる（令和7年7月31日現在33名）。

特別支援教育中核コーディネーターの専門性向上を図るため、本県との事業連携協定を締結している塩野義製薬株式会社との共催により研修会を開催する。

〔特別支援教育中核コーディネーター研修会〕令和8年2月実施予定 ※詳細については調整中

○特別支援教育エリアコーディネーターの配置・運用

□特別支援教育エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関等との連絡・調整に関する支援を行っている。

・対応延べ件数：573件（内訳 支援・教育相談関係：257件 研修関係：246件）

※令和7年12月現在

○中学校と特別支援学校高等部の進路情報交換会の実施【済】

中学校及び義務教育学校（後期課程）と特別支援学校の進路等担当者が情報交換をとおして、教育上特別な支援を必要とする生徒の就学や進路指導の在り方について理解を深めることにより、将来を見据えた進路指導・支援への見識を高め、将来の自立や社会参加に向けた指導・支援の充実及び支援体制・連携の構築につなげるねらいで実施した。Zoom ミーティングを活用したライブオンラインで開催し、後日、オンデマンド配信も実施している。

開催日時		情報提供を実施する特別支援学校	申込 (人)	当日参加 (人)	オンデマンド 視聴(回)
1	令和7年5月28日(水) 14:00~16:15	花巻清風支援学校、前沢明峰支援学校、 一関清明支援学校	16	12	34
2	令和7年6月4日(水) 14:00~16:15	盛岡視覚支援学校、盛岡聴覚支援学校、 盛岡となん支援学校	3	0	14
3	令和7年6月5日(木) 14:00~16:30	久慈拓陽支援学校、盛岡みたけ支援学校 二戸分教室、二戸新設校、三愛学舎	8	4	32
4	令和7年6月9日(月) 14:00~16:15	盛岡峰南高等支援学校、盛岡青松支援 学校、岩手大学教育学部附属特別支援学校	19	13	31
5	令和7年6月13日(金) 14:00~16:00	気仙光陵支援学校、釜石祥雲支援学校	5	3	12
6	令和7年6月17日(火) 14:00~15:45	宮古恵風支援学校	6	1	24
7	令和7年6月25日(水) 14:00~16:00	盛岡ひがし支援学校、盛岡みたけ支援学校	7	4	16
合 計			64	37	163

★高等学校における指導・支援の研究【取組中】

岩手県立総合教育センターとの共同研究として令和6年度に取り組んだ「高等学校における校内支援体制の充実に関する研究—特別な支援を必要とする生徒を含む集団への多層的な支援を通して—」の研究成果を、リーフレットにまとめ、県内高等学校へ配付予定である。

令和7年度は「高等学校における特別な支援を必要とする生徒への進路指導の充実と関係機関との連携に関する研究」を研究主題とし、高等学校への実態調査と県内の高等教育機関調査について連携しながら研究を推進している。

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

□特別支援教育支援員スキルアップ研修会【済】

・期日及び会場 令和7年7月31日(木) ふれあいランド岩手 参加者 65名

□高等学校特別支援教育コーディネーター研修【済】

・期日及び会場 令和7年6月27日(金) 総合教育センター 参加者 75名

○特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

□継続型ステップアップ研修の実施【取組中】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当を対象とした継続型の研修を実施する。

【1年目】特別研修(新任研修)「担任・担当としての基礎力形成」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ(前期)・・・教育事務所実施

イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ(後期)・・・総合教育センター実施

ウ その他

希望研修として、新任特別支援教育担当教員研修講座を年度当初に実施

【2年目】特別研修(教職専門等研修)「担任・担当としての実践力向上」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施

【3年目】特別研修(教職専門等研修)「学校組織による特別支援教育の推進」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施

○すべての校種における交流及び共同学習

□「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初 328名の申請があり(令和6年度は314名が実施)、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

□各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校幼稚部に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

【成果】

- ・特別支援学校のセンター的機能を活用した相談・支援が地域の特別支援教育の推進につながっている。
- ・特別支援教育コーディネーター連絡会は、各地域のニーズや学校の現状に応じたテーマで情報交換や研修会を実施したことで、異なる学校種の学校同士、学校と行政の担当者の連携を図ることができた。
- ・交流及び共同学習により、居住する地域の児童生徒同士のつながりが広がるとともに教育的意義の理解も図られてきている。

【課題】

- ・多様な相談等に対応するため、各校種の特別支援教育コーディネーターの一層の連携強化や階層的な相談支援体制の整備を進めていくこと。
- ・行動面の課題等に対応する体制の一層の整備や通常の学級における一斉指導、個別支援の充実に向けた改善策を講じること。
- ・中学校と特別支援学校高等部の進路情報交換会について、参加者が増えるように周知を工夫し、より一層中学校による教育上、特別な支援を必要とする生徒の進路指導の充実を図ること。

支える ～教育環境の整備・充実・県民理解の促進～

○特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和7年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	11	-2	9	0	6	4	6	4	17	2	15	4
難聴	31	2	26	-1	22	3	17	3	53	5	43	2
知的障がい	1,217	75	288	-1	586	39	146	0	1,803	114	434	-1
肢体不自由	33	2	27	0	16	0	14	1	49	2	41	1
病弱・身体虚弱	46	-4	39	-1	30	5	22	2	76	1	61	1
自閉症・情緒障がい	1,162	82	288	15	584	15	147	3	1,746	97	435	18
計	2,500	155	677	12	1,244	66	352	13	3,744	221	1,029	25

通級指導教室の状況（令和7年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,272	-7	87	0	0	0	0	0	1,272	-7	87	0
LD等	185	18	16	0	102	15	12	0	287	33	28	0
計	1,457	11	103	0	102	15	12	0	1,559	26	115	0

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 28 校に 30 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○専門家の活用

スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー17名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

□スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各学校にスクールカウンセラーを派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

□特別支援学校における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士等を派遣し、教育活動の充実につなげている。

○特別支援学校の整備推進

□特別支援学校整備計画の策定と推進【取組中】

令和3年5月に策定した特別支援学校整備計画に基づき、特別支援学校の教育環境の整備について推進している。令和8年度4月、県立北桜高等学校工業校舎に併設した二戸北星支援学校を開校する。

特別支援学校の状況（令和7年5月1日現在）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援			2	2	5	3	4	2	10	5	21	12
	盛岡聴覚支援	3	2	4	2			18	7	1	1	26	12
	盛岡となん支援			55	22	36	14	39	14			130	50
	盛岡青松支援			10	4	8	3	23	10			41	17
	盛岡峰南高等支援							89	12			89	12
	盛岡みたけ支援			74	20	49	11	79	14			202	45
	同奥中山校			8	4	9	3					17	7
	盛岡ひがし支援			74	20	44	10	48	12			166	42
	花巻清風支援			65	20	53	16	57	15			175	51
	前沢明峰支援			48	13	33	10	48	12			129	35
	一関清明支援			44	16	48	16	62	17			154	49
	気仙光陵支援			18	5	8	3	22	4			48	12
	釜石祥雲支援			20	8	11	5	21	7			52	20
	宮古恵風支援			19	6	11	5	36	8			66	19
久慈拓陽支援			21	7	17	4	28	5			66	16	
小計		3	2	462	149	332	103	574	139	11	6	1,382	399
国立	岩大附属			15	3	17	3	21	3			53	9
私立	三愛学舎							47	3	27	2	74	5
小計				15	3	17	3	68	6	27	2	127	14
合計		3	2	477	152	349	106	642	145	38	8	1,509	413
増減(前年度比較)		-1	0	9	0	1	-4	24	4	2	0	36	-1

★地域に根差す特別支援学校分教室の運用

□特別支援学校分教室連携推進連絡会の実施【済】

〔期日及び会場〕 令和7年12月3日（水）

岩手県立花巻清風支援学校北上みなみ分教室中学部（北上市立南中学校内）

〔集合参加者〕 北上みなみ分教室設置小・中学校長、特別支援学校分教室副校長、分教室主任

〔オンライン参加者〕 分教室設置小・中・高等学校長

★医療的ケア児に係る看護職員の配置

□特別支援学校における看護職員の配置【済】

9校 53名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護職員 55名を任用して対応している。

★県民向け公開講座

□県民向け公開講座や広報活動の実施【済】

・子ども未来支援セミナー

〔1回目〕 令和7年9月27日（土） オンライン開催 参加者 46名

講演「発達障がいの子とハッピーに暮らすヒント」

ゆるみ☆子育て 代表、講師、カウンセラー

堀内 祐子 氏

〔2回目〕 令和7年10月26日（日） オンライン開催 参加者 74名

講演「発達障害グレーゾーン ～学校でうまくいかないことの理解とその対応～」

パークサイドこころの発達クリニック 理事長

原田 剛志 氏

・いわてこども発達支援サポートブック

各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

★特別支援教育サポーター養成

□特別支援教育サポーター養成講座の開催・周知【取組中】

今年度は、盛岡ひがし支援学校、一関清明支援学校、釜石祥雲支援学校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座（全8回）を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげている。

学校	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
盛岡ひがし支援学校	164名	21名	21名
一関清明支援学校	142名	26名	23名
釜石祥雲支援学校	71名	9名	9名

○スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながりづくり

□各団体等と連携した事業の実施【取組中】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局保健体育課等において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げている。

□岩手県特別支援学校作品展等の周知【済】

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知した。

・期日及び会場 令和7年11月22日（土）～11月24日（月）

盛岡地域交流センター「マリオス」展示ホール

文化振興課

・いわてアール・ブリュット巡回展 2025

〔県北会場〕 令和7年10月1日（水）～10月6日（月）

岩手県立児童館いわて子どもの森

〔盛岡会場〕 令和7年12月20日（土）～12月28日（日）

岩手教育会館 ふれあいギャラリー

〔宮古会場〕 令和8年1月17日（土）～2月1日（日）

宮古市市民交流センター（イーストピアみやこ） まちの情報プラザスペース

- ・いわてアール・ブリュットミライ発信イベント（創作活動の現場見学体験）
 - 〔第1回〕 令和7年8月25日（月）
見学先：社会福祉法人光林会ルンビニー苑、るんびにい美術館
障害福祉サービス事業所こぶし苑
 - 〔第2回〕 令和7年12月22日（月）
見学先：社会福祉法人盛岡市民福祉バンク
いわてアール・ブリュット巡回展 2025 盛岡会場
- ・創作活動に関する権利保護研修会
 - 令和7年9月3日（水） 紫波町情報交流館
講師 石川法律事務所 弁護士 松岡 佑哉 氏
一般社団法人たんぽぽの家 後安 美紀 氏、大井 卓也 氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～しる・つながる・ひろげる～
 - 令和7年10月6日（月） 矢巾町活動交流センターやはばーく
講師 prop 代表 那須 賢輔 氏
Good Job!センター香芝 企画営業ディレクター 安部 剛 氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～福祉的支援からアート支援へ～
 - 令和8年2～3月予定 会場未定
講師 しゃかいのくすり研究所 代表
るんびにい美術館アートディレクター 板垣 崇志 氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～施設・事業所等管理者編～
 - 令和8年2～3月予定 会場未定
講師 しゃかいのくすり研究所代表
るんびにい美術館アートディレクター 板垣 崇志 氏
甲南大学文学部人間科学科 教授 服部 正 氏
- ・第33回岩手県障がい者文化芸術祭
 - 〔応募作品展〕 令和7年11月13日（木）～12月7日（日） ふれあいランド岩手
 - 〔記念式典（応募作品展表彰式）〕 令和7年11月30日（日） ふれあいランド岩手
 - 〔ふれあい音楽祭 2025〕 令和7年12月6日（土） ふれあいランド岩手
- ・外部有識者による協力委員会
 - 年間1回開催

生涯学習文化財課

- ・新任生涯学習関係職員研修講座
 - 令和7年5月13日（火） オンライン
講義 「障がい者の生涯学習の推進について」
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 社会教育主事
 - 令和7年5月14日（水） 岩手県立生涯学習推進センター
選択研修 「ボッチャなどを通して学ぶ障がい者スポーツ」
一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会 事務局長 三 浦 拓 朗 氏

- ・人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座（宮古会場）
だれでもいつでも学べる未来 ～みんなで語る共生社会のまなび～
令和7年7月29日（火） イーストピアみやこ
事例発表 「ボーダレスな居場所・地域づくりを目指して」
特定非営利活動法人クチェカ 理事／事務局長 鈴木 悠太 氏
トークセッション
「だれでもいつでも学べる未来」
登壇者 特定非営利活動法人クチェカ 理事／事務局長 鈴木 悠太 氏
岩手県立宮古恵風支援学校 教諭／進路指導主事 湊 義徳 氏
岩手県立宮古恵風支援学校卒業生
- ・人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座（花巻会場）
次のステージへ向けて ～支援学校と地域が共に歩む未来づくり～
令和7年11月17日（月） 岩手県立生涯学習推進センター
実践発表 「人と地域とつながる力 ～花巻清風の作業学習を通して～」
県立花巻清風支援学校 教諭／高等部主事 佐々木 祐子 氏
教諭／進路指導主事 福山 沙織 氏

★スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいくくり、地域とのつながりづくり

スポーツ振興課

- ・スポーツ教室

教室名	実施回数
ボッチャ教室	2
グランドゴルフ教室	3
ヨガ教室	1
ゲートボール教室	2
卓球バレー教室	2
スキー交流会	1
STT 教室	2
ウォーキング	2

- ・パラスポーツ指導員養成
パラスポーツ指導員養成講習会（初級パラ者スポーツ指導員養成講習会2回、中級パラスポーツ指導員養成講習会1回、フォローアップ研修会1回）を開催
- ・インクルーシブスポーツ推進事業
障がいのある人もない人も共に楽しめる共生社会型スポーツの充実を図るため、指導員養成、体験教室、交流大会を県内各地で開催し、各地域における推進体制の構築を図る
〔県央会場（盛岡市）〕 ボッチャ交流大会 令和7年11月2日（日）
〔県央会場（盛岡市）〕 卓球バレー交流大会 令和7年11月2日（日）
〔沿岸会場（大船渡市）〕 ボッチャ交流大会 令和7年12月7日（日）
〔沿岸会場（釜石市）〕 卓球バレー交流大会 令和7年9月30日（火）
〔県北会場（久慈市）〕 ボッチャ交流大会 令和8年2月14日実施予定
〔県北会場（久慈市）〕 卓球バレー交流大会 令和7年11月9日（日）
〔県南会場（金ヶ崎町予定）〕 ボッチャ交流大会 令和8年3月実施予定
〔県南会場（金ヶ崎町予定）〕 卓球バレー交流大会 令和8年2月1日（日）実施予定

・岩手県障がい者スポーツ大会

月日	種目	会場
令和7年5月11日(日)	ボッチャ	ふれあいランド岩手
令和7年6月7日(土)	陸上	岩手県営運動公園
	フライングディスク	ふれあいランド岩手
	卓球	
	アーチェリー	
	水泳	盛岡スターレーン
ボウリング		

・パラリンピック選手等育成・強化事業

本県ゆかりのパラアスリートを強化指定選手として指定し、国際大会、全国大会出場等の競技活動に要する経費の一部を補助

・いわてパラアスリート発掘・育成事業

将来性のある人材の発掘やアスリートとして活動するための専門的な知識・トレーニング方法等の研修を実施

(令和7年度：年間2回の全体研修、3団体による4競技の競技別研修)

支える ～教育環境の整備・充実・県民理解の促進～

【成果】

- ・多様なニーズに応じた教育諸条件に係り、特別支援学級や通級指導教室の設置、高等学校における特別支援教育支援員の配置、通級指導教室の設置、医療的ケア看護職員の配置、外部専門家を活用した教育活動の充実を図ることができた。
- ・県民向け公開講座や特別支援教育サポーター養成講座の取組により、共生社会の形成に向けた県民の理解・啓発が着実に進められてきている。

【課題】

- ・特別支援学校再編整備計画に基づき、整備の着実な実行を進めていくこと。
- ・公開講座や特別支援教育サポーター養成について、引き続き周知を図ることで、共生社会形成に向けての県民の理解をより一層促進すること。
- ・関係機関との連携しながら、スポーツ・文化芸術活動の充実による生涯学習の推進に取り組むこと。